

# 生き生き

NO.101 令和4年6月号 岡崎市現職研修・生活科・広報部発行

## 「みんながすきだから」

生活科部長 男川小学校長 中西 勉

「何で校長先生は、みんなの様子を見てるの？」  
研究授業の山場で、担任が子供たちに問いかけた。それに対して、子供たちは、  
「みんなががんばっているか見てる」、「みんながすきだから」、「みんながよろこぶから」  
と矢継ぎ早に答えた。子供たちの純粋な思いが伝わってきて、目頭が熱くなった。

1年生の「がっこうとなかよし」の単元で、1組の子供たちは、校長先生が日頃はどんな仕事をしているのかがとても気になった。そこで、ある日、各教室の授業の様子を見て回る私の後をつけて、“秘密裏に”調査を開始した。私の後ろには、何人もの子供たちの列ができていた。私が、時々後ろを振り返ると、子供たちは私の行動を記録するために持っていた探検バッグでサッと顔を隠し、後をつけていることがばれないように精一杯平静を装った。そして、何事もなかったかのように再び私が歩き出すと、「校長先生は気付いていないぞ!」と小声でつぶやく子供たちの声が聞こえてきた。この健気な子供たちの姿が、何とも愛おしかった。



▲校長先生に気付かれませんように・・・

こうした努力を経て、子供たちは私の行動を克明に記録し、調査をやり遂げた。その気付きを発表する研究授業当日は、子供たちの発言意欲が全開だったのは言うまでもない。

校長先生という「人」に焦点を当て、その様子を念入りに調べるとい担任の仕掛けは見事にヒットし、子供たちの主体的な学びの姿を上手に引き出した。生活科の教科書は、上巻（1年生用）は「なかよし」をコンセプトとして作られている。「がっこうたんけん」では、子供たちは校内の「もの」に目が向きがちだが、この実践のように「人」に注目して、その思いに迫り、愛着（なかよしの気持ち）を抱くことも大変有意義な学びになる。

来週、1組の子供たちは、研究授業で予想した自分たちの考えを確かめに、校長室にインタビューに行きたいととても意気込んでいるそうだ。来室した際には、「みんながすきだから」を始めとする子供たちの率直な考えに、笑顔で「大きな花丸」をあげようと思う。



## 研修のご案内

### 授業力アップセミナー

- 日時 7月27日（水） 9：15～12：00
- 場所 総合学習センター
- 内容 授業実践報告と質疑応答 グループトーク  
講師の先生のご指導と講話
- 講師 愛知教育大学 教授 加納誠司先生  
演題：「子ども一人一人が輝く生活科授業の創造」  
—協働的な学びは個の学びの集合体—

### 三教研生活科教育研究大会

- 日時 8月4日（木）12：40～
- 場所 岡崎市民会館
- 内容 授業実践報告と研究協議

多くの方のご参加をお待ちしております。

